

## 9月号 (72-09) 著者プロフィール

1. 生年月日
2. 出身地
3. 出身高校
4. 出身大学
5. 研究テーマ
6. 最近思うこと
7. 信条
8. 最近, 感銘を受けた1冊
9. 趣味
10. ごひいきの球団, チーム, 番組
11. ホームページ

### ●研究物語：宇宙誕生の謎に挑んだ大学生たち



川畑 貴裕 (かわばた たかひろ)

京都大学大学院理学研究科准教授

1. 1973年
2. 宮崎県
3. 宮崎県立延岡東高等学校
4. 2002年京都大学大学院理学研究科博士課程修了
5. 原子核におけるクラスター構造の実験的研究, 宇宙における元素合成過程
6. ソフトボールの試合での出場機会を求めて, 投手の練習に励んでいます. コントロールよく速球を投げるための力学的な原理は理解しているものの, それをいかに自身の体で実現できるのか, 実験物理学者として, 日々, 心を痛めています.
7. あきらめない
8. マイケル・ファラデー『ロウソクの科学』
9. ソフトボール, 旅行, 飲酒
10. 広島東洋カープ
11. <http://www-nh.scphys.kyoto-u.ac.jp/index-j.html>

### ●解説：人工ナノ粒子を抗体医薬へ



小出 裕之 (こいで ひろゆき)

静岡県立大学薬学部薬学科助教

1. 1983年
2. 静岡県
3. 静岡県立浜松南高等学校
4. 2011年静岡県立大学大学院薬学研究科博士課程修了
5. 生体内で標的分子を吸着するナノ粒子開発とsiRNAデリバリーベクター開発
9. サッカー
10. ジュビロ磐田
11. <http://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/radiobio/mbc/Home.html>



三浦 佳子 (みうら よしこ)

九州大学大学院工学研究院教授

4. 2000年京都大学大学院工学研究科博士課程修了
  5. 糖鎖高分子, 高分子化学
- 



奥 直人 (おく なおと)

静岡県立大学薬学部薬学科教授

1. 1952年
  2. 東京都
  3. 東京都立戸山高校
  4. 1980年東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了
  5. 薬物送達システム
  6. 我が国の未来
  7. “NONQUAM NON PARATUS”
  11. <http://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/radiobio/>
- 



星野 友 (ほしの ゆう)

九州大学大学院工学研究院准教授

1. 1978年
2. 神奈川県
3. 聖光学院 (横浜)
4. 2006年東京工業大学大学院生命理工学研究科博士課程修了
5. タンパク質のような機能をもつ合成高分子微粒子の開発, CO<sub>2</sub>分離剤・プロセスの開発

### ●解説：グラフェンナノリボン形成過程を数理モデルで予測！



Daniel Packwood (ダニエル パックウッド)

京都大学高等研究院物質-細胞統合研究拠点 (iCeMS) 講師

1. 1985年8月24日
2. クライストチャーチ（ニュージーランド）
3. シャーリーボーイズ ハイスクール
4. 2010年カンタベリー大学化学専攻博士課程修了， Ph.D.
5. ナノ材料のための理論・数理科学
6. 一般向け研究発表のやり方
7. また走れるよ！
8. 『大脱出』（ハリウッド映画）
9. マラソン
11. <http://www.packwood.icems.kyoto-u.ac.jp>



一杉 太郎（ひとすぎ たろう）

東京工業大学物質理工学院教授

1. 1971年10月24日
2. 大分県
3. 神奈川県立柏陽高等学校
4. 1999年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了
5. 固体物理化学
6. 飲酒量をどのようにして減らすか…。
7. 一歩ずつ前へ！
9. ひなたぼっこ，散歩
11. <http://www.apc.titech.ac.jp/~thitosugi/index.html>

## ●企業のカガク研究最前線：タキイ種苗株式会社



富永 直樹（とみなが なおき）

タキイ種苗（株）開発部

1. 1985年9月4日
2. 群馬県
3. 群馬県立高崎高等学校
4. 2011年東京理科大学大学院理工学研究科応用生物化学専攻修士課程修了
5. 機能性品種の付加価値化と推進
9. 釣り，スキューバダイビング

## ●カガクへの視点



喜多 雅一 (きた まさかず)  
岡山大学大学院教育学研究科教授

1. 1955 年
2. 岡山県
3. 岡山県立岡山操山高等学校
4. 1985 年大阪大学大学院理学研究科博士後期課程修了
5. ①化学教育, 環境教育, 防災教育の教材開発, ②国際協力 [1999 年から JICA (独立行政法人国際協力機構) の専門家として活動中, 現在はパプアニューギニアのプロジェクトに従事しています]
6. 学生や現在の学校教員を連れて, マレーシア, カンボジア, インドネシア, ガーナ, ネパールなどで授業を毎年継続してやっています. 理科・化学の授業を通じた国際理解は, 日本の教育を見直す機会でもあります.
7. 授業を通じた国際交流
9. マラソン (年 2 回ペース)
10. 阪神タイガース

## ●新連載：誰も教えてくれない！有機化学の基本のキ



矢野 将文 (やの まさふみ)  
関西大学化学生命工学部化学・物質工学科准教授

1. 1971 年 2 月 6 日
2. 和歌山県和歌山市
3. 和歌山県立向陽高校
4. 1997 年大阪市立大学理学研究科化学専攻博士課程後期課程中途退学, 1998 年博士 (理学)
5. 構造有機化学
6. 無駄の効用
7. 当たり前のことを淡々と
9. 全国の鉄道乗りつぶし (挑戦中)
10. 阪神タイガース